

DOYU

I W A T E

5
May

2021
Vol.149
同友いわて



よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。
岩手県中小企業家同友会 | <http://www.iwate.doyu.jp/> |



2021 年

合同入社式

44名が新たな船出

「地域の中小企業で働く誇りを胸に

生きがいのある豊かな人生を創造しよう！」

4月1日（木）、新入社員
合同入社式が、23社44名の新
入社員、43名の経営者、幹部
社員の合計87名参加でホテル
メトロポリタンニューウイン
グにて開催されました。昨年
に引き続き通常500名ほど
入る会場を準備し、一人ひと

りの距離を3メートル以上取
り、感染防止の配慮を最大限
に行ったうえでの式典となり
ました。またご来賓として、
岩手県商工労働部 定住推
進・雇用対策室室長の安藤知
行氏、盛岡市商工労働部部長
の赤坂國彦氏をお迎えし、厳
かにおこなわれました。



「あなりたい！と憧れる
メンターを見つけてほしい」

代表理事挨拶に立った鈴木
雅彦氏（株）東北ウエノ代表取
締役）は、「皆さんには早い
時期に自分が『あんな風にな
りたい』と憧れるようなメン
ターを見つけてほしい。また
経営者の皆さんは、そんな新
入社員と共に成長し続けられ
る土壌を全力でつくっていた
だきたい」と語りかけるよう

に話しはじめました。今回の
記念品として、九十九歳で天
寿を全うされた、東京大学名
誉教授の大田堯氏の生命（い
のち）のきづなを全員にお渡
しました。その大田氏の
言葉を引用し「人はなぜ本来
4つ足で立った方が楽だった
はずなのに、二足歩行をする
ようになったのか。どんなに
文献を調べてもその理由は出
てこない。結論として『その
気になった』としかいえない
のでは」と話し、皆さんも社

会人として歩み始めた今日の
この日を忘れず、道を切り拓
いていただきたい」とエール
を送りました。

つねに「何のために」を
考えてほしい

また、記念講演に立った田
村満氏（株）高田自動車学校取
締役会長）は、「生きがいの
ある人生を創造しよう」を
テーマにお話いただきました。
「『大きな企業の新入社員式
多くで、経営者の皆さんは早
く戦力になれるように頑張っ
てほしい』と挨拶するでしょ
う。でも私たちはいつも、『皆
さん一人ひとりの人生を生き
がいのあるものにしてほし
い』と話します。なぜでしょ
うか。私たちは常に『何のた
めに』を考え続けています。
皆さんにも常に考えることを
心においていただきたいので
す。」との問いかけからスタ
ートした田村氏の講演は中小企
業憲章にも踏み込んでいきま
す。「中小企業って日本全国
にどれくらいあるか知ってい
ますか？実は約50万社もある

んです。私たちの暮らしを
守っているのは中小企業で
す。皆さんもその一員になっ
たことを誇りに思っていただ
きたい。」と話しました。そ
して最後に「準備された心に
幸運は訪れる」というダー
ウインの言葉を贈り、講演を
終了しました。

新入社員からは、「コロナ禍
の中でこんなにも厳かで素晴
らしい式典を準備してくださ
るとは思ってもみなかった。
心から感謝申し上げます。自
分自身の可能性を存分に発揮
できるような人生を歩んでい
きたい」との決意表明があり、
「入社式」ではありましたが、
まるで合同での勉強会のよう
な、厳粛な中にもぬくもりを
感じる社員、経営者が共に学
び合った式典となりました。



完全オンラインでの研修 会が5月からスタート

また5月からは、半年に渡って行われる新入社員研修会がスタートします。こちら
も昨年に引き続き完全にオンラインで実施予定です。昨年のオンライン研修会は、その利点を最大に生かした内容に、昨年の離職率を多く下げた効果がありました。社員共
育委員会が何カ月も前から丁寧準備し、ファシリテーター講座も開設しながらの開



催です。

合同入社式での澆刺とした意欲溢れる新入社員が、半年後どのような成長した姿を見

せてくれるのか。大きな会場から大きな未来への希望を送り出した記念式典となりました。

決意表明

本日私たち新入社員のために、このような立派な入社式を開催していただき誠にありがとうございます。また、このような不安定な社会状況の中、私たちを迎え入れてくださった各企業の方々につきましても、重ねてお礼申し上げます。

今日から社会人となり、岩手県中小企業家同友会会員企業の一員として新たな生活を始められることを、大変ありがたく、また嬉しく思っております。

働くことを通して、生まれ育った岩手県に貢献できるように、また先輩方が築いて来られた各企業の名に恥じぬように、日々精進していく所存でございます。まだまだ未熟で頼りない点はあるかと思えます。で

すが、若さを活かし、何事にも全力で取り組み、変化の多い時代にも対応できるような柔軟性を持って、少しでも早く社会の役に立てるよう力を尽くして仕事に取り組んでまいります。

どうか先輩方におかれましては、ご助言ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

本日は誠にありがとうございます
ございました。

東日本機電開発(株)

斉藤 航大



岩手県中小企業家同友会 2021新入社員合同入社式



支部・地区・広報委員ほつとライン

紫波花巻支部

3月4日(木) 紫波花巻支部3月例会が川上塗装工業(株)代表取締役 川上秀郎氏を報告者に同社社屋3階に新たに完成した「サスティナブルスタジオ盛岡 ヴォツヅキ」からオンラインで開催されました。「四方良し! 想いの強さは理念の強さ」経営指針とは何々をテーマにご報告いただきました。

経験から強い思いは生まれる

川上氏は「自社は社業を通じて何人を幸せに出来るの



か? 何十万人も幸せに出来る会社になりたい!」との強い想いを持ち2005年に前職の社長から譲り受けたトラックと脚立ひとつ、アパートの一室から会社をスタートさせました。当時は理念に「男気」をかげ仲間と共にがむしゃらに働いていました。

2009年に同友会に入会し、「第5期経営指針を創る会」に参加しました。そのとき経営に向き合い、初めてつきつけられたのは自社の財務状況が資金ショート寸前という厳しい現実でした。このままでは大事な仲間を幸せにする事ができないとそれから12年間必死に学び、考え続けた事から「想いは過去の集大成。経験から強い想いは生まれる」ということでした。

暮らし続けたいと思える街を創造し未来に繋ぐ

「例えば1000人の子どもたちが犬の殺処分分の現状を目

の当たりにしたとします。「これは絶対に変えていきたい」と思い続けて大人になり、そして殺処分がなくなるための行動を起こした人が一人でもいれば、未来が変わります。その人は自分の使命を見つける事ができた人です。使命は一人ひとり違う。使命を見つめるには体験し、自ら掴みに行く事。」と川上氏は言います。

そして、12年かかり自社の3つの理念ができました。その中で一番大切にしている社会性ⅡWHYの「暮らし続けたいと思える街を創造し、未来に繋がります」という強い想いがあります。そこから、「売り手良し、買い手良し、世間良し」に加え「環境良し」の四方良しが求められる今、子どもたちが笑える未来のために企業として今を生きる責任を果たし、次の世代に繋ぐために、この仕事を通じて行動して行くことです。

1000人の子どもたちを笑顔にする

今後、日本の宇宙ロケット開発技術を応用したたくさん

優れた機能がある塗料、GAINA塗料(ガイナ)を使用し子ども達の学ぶ環境を快適にし1000人を笑顔にする「WHITE ROOF PROJECT」やGAINA塗料が体験できる「サスティナブルスタジオ盛岡 ヴォツヅキ」からSDGsを中心としたイベントを発信していきたいと熱く未来を語る川上氏の報告でした。

(報告 杜陵テクノ(株)

川村 武司)

気仙支部

3月29日(月) 気仙支部3月幹事会が陸前高田市「発酵パークカモシー」で開催されました。当日は気仙支部幹事6名で今後の活動について意見交換をしました。

気仙支部は昨年から新型コロナウイルス感染症の中、しばらく例会を自粛していましたが、いよいよ5月から通常例会を開始していこう、そして例会は原点に戻りテーマに沿って作り上げていこうということになりました。テーマとして「市民エネルギー」「女

性経営者報告」「地域連携ブランドづくり」「持続可能な地域づくりに挑戦」という内容がそれぞれ皆さんから出されました。

幹事の皆さんは「振り返れば10年、何の為に経営をし、何の為に持続させているかの自問自答だった気がする。決して無駄な10年を送ってきたわけではなく、震災前に蒔いた種が10年の月日が経つてようやく芽が出て、これから更に成長していく様な話で溢れかえる例会が続いていく気仙支部例会にしたい。」と熱く活気ある支部活動の再始動へ意気込みを確認し合った幹事会になりました。

(報告 (有)橋勝商店

橋詰 真司)



盛岡支部

盛岡支部では、例会と小グループ会を隔月で行って来ましたが、2020年度最後の小グループ会が3月にオンラインで2回行われました。今月は合同でのグループ会になりました。

の発展のためにサポートをしていきたいと思っています。」と話す野崎氏。会員では初めての業種ということもあり、参加者からは特許や商標などについて質問や問いかけがあり、あつと言う間の60分間が終了しました。

1回目は、3月5日(金)

4・5・6グループ合同で、バクロド特許商法事務所 弁理士 野崎俊剛氏のミニ報告

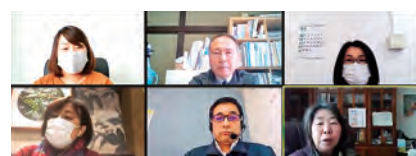
のグループ会が行われました。3年前にUターンし盛岡に事務所を開設しました。主に特許、意匠、商標について特許庁に申請、出願を代理して行う仕事をしています。岩手県では弁理士が6名しかいません。「岩手では商標登録をしていない所が多い。一人でも多くの方に仕事の内容



を知ってもらい、自分の仕事を通し、企業経営や地域

2013年子供服店をオープンしました。そこには「皆が働ける場」という山内氏の想いがありました。そして多くの方と関わる中に福祉事業所があり、自分たちが支援できることがあるのではないかと考え、障がい者福祉事業所を開所します。しかし、思うようにはいかず、2020年第14期経営指針実践塾を受講。自分が人を選んでやってきた事に気づかれます。結果、障がい者事業をやめることにしました。

山内氏は母親の他界をきっかけに「人はなぜ生きるのか。」



生きるとは何かをずっと考え続け働いている人の幸せと皆が働ける場所を胸に取り組んできた」と報告、心に残るグループ会となりました。

県北支部 農業食糧生産部会

4月16日(金) 岩手町石神の丘レストランで、県北支部・農業食糧生産部会4月例会が25名の参加で行われました。

当日は、岩手町町長の佐々木光司氏と葛巻町町長の鈴木重男氏にもお越しいただき、賑やかに始まりました。

昼食には報告者のみなみよーとんから特別に提供いただいた「やまと豚」のステーキ、キロサ肉畜生産組合の「玄米育ち岩手めんこい黒牛」のローストビーフ、葛巻町畜産開発公社の新鮮なヨーグルト、そしてデザートにはハッビーヒルファームの「ハッ

ピーさんのミルクアイス」と同友会企業の食材が揃い、豪華なメニューに歓声が上がるほどでした。

感染症拡大の中でこの一年、こうした交流の時間は満足には作れませんでした。それだけに万全の注意をしながらも久々に開催できたことに、満面の笑顔がその喜びを物語っていました。

岩手町の佐々木町長からは「岩手町では中小企業・小規模企業振興基本計画が策定し、人材育成を重要ポイントと考えています。実現のために中小企業の皆様と一体となり、振興を図っていききたい」とご挨拶いただきました。また葛巻町の鈴木町長からは「農業食糧生産部会は私もお世話になってきた時期があり特別な思いがあります。この部会が更なる発展となりますよう祈念します。」と挨拶がありました。

みなみよーとん(株)取締役会長 佐藤守氏からは、「一人に任せて育てる」コロナ禍のような緊急事態こそ、人材が

育つをテーマにお話いただきました。

「いいものを作っても買ってもらえなければ意味がない。そのために方向性・生産性・計画性をしっかり考え取り組んでいく必要がある。また、地域循環をすれば生きたお金を産むことができ、働く人も増やせる。地域を元気にするために、いいものを作り信用される企業になっていくことが大事」と話し、半年ぶりの「佐藤節」に酔いしれた時間となりました。

恒例のやまと豚の販売では1キロパックが35個即完売、そして沿岸大船渡リアスターファームから届いた朝採りの夏いちご「なつあかり」、「信大BS8-9」の販売会が行われ、



39パックが完売。大盛況のうちに終了しました。

第15期人を生かす経営・経営指針実践塾スタート(第1回)

学ぶとは誠実を胸に刻むこと、

教えるとは共に希望を語ること

1年ぶりにスタートした実践塾

3月26日(金)、27日(土)、カガヤ肴町ビルで、第15期経営指針実践塾第1回が開催されました。コロナ禍の中で昨年は1年間休会しましたが、

今期は10社11名の受講生を迎え、新たな体制でスタートしました。

今期の特長は①4カ月での発表、②オンラインの導入、そして③5つの各グループに分かれ、より丁寧な対応を行うことから掲げ実行委員会体制で半年前から準備を進めてきたことです。

4委員会がタッグを組みかわる

なかでも初期段階では経営労働、共同求人、社員共育、ダイバーシティの委員長が何度も議論を重ねて土台をつくり、今期あらたに挑戦するグループ長を支えるサポート役に徹して動いていただいたことです。このパンデミックの中でもスタートラインに立つことができたのも、そうした

運動を支える先輩方の動きがありました。

実践報告から学ぶ理念の大切さ

2日目に報告に立った川村実行委員長、佐々木江美氏、吉田巧氏の二人の副実行委員長は、ご自身の経営指針作成に向き合った時の心情を赤裸々に開いて戴きました。また共通してエネルギーシフト(ヴェンデ) 欧州視察に参加し、地域での新たな仕事づくりへの挑戦と未来展望を掲げたことを挙げ実体験をありのままに語る迫力とビジョン実現に向かうエネルギーに圧倒されました。

「何のために」経営するのか

6つの質問を準備してきた受講生からは、「まるで立ち位置が違う。自分が考えていたのは単なる手段だった。『何

のため』にを今一度見つめ直したい」など受講生、実行委員ともに大きな刺激を得たスタートとなりました。

今後、各グループでは、グループ長を中心になぞれが連絡を取り合いながらZoomと直接参加型でそれぞれ次の第2回目まで開催されていきます。新しい体制でスタートした第15期人を生かす経営・経営指針実践

塾は、発表の7月まで川村実行委員長中心にかかわり合いで深めていく予定です。



ドイツからの風



池田憲昭氏

プロフィール
1972年長崎県生まれ
岩手大学人文社会科学部(ドイツ文化専攻)卒業、フライブルク大学森林環境学ディプロム課程(修士相当)卒業
フライブルク地域を拠点に、ドイツ環境視察セミナーのオーガナイザー、異文化マネージメントのトレーナー、企業サポーター、日独プロジェクトのコーディネーター、専門通訳、ジャーナリストとして活躍されています。2011年9月Arch Joint Vision社を設立 現代表。

多様性

この1年、シュヴァルトヴァルトにこもり、サナギのような生活をしました。今もまだそれが続いています、もう

しばらく続きそうな雰囲気です。移動も仕事も制限され、不自由で、不安もありましたし、今でも少しありますが、ポジティブな側面、得られたものもありました。自然を、

仕事のネタや対象としてでなく、主体として感じ、触れ合うことができました。おそらく小さい子供のと看以来です。人の暖かさや思いやり、家族の大切さを、深く感じることもできました。また、与えられた静かな時間のなかで、創作の意欲も出てきました。本を書きました。

「多様性」というタイトルのです。人と森と木について、多面的にアプローチしました。最初は、時間ができたから、これまで書き溜めた小さな記事や講演で話した色々なことをつなげ、「多様性」と「サステイナブル」というキーワードでチャットとまとめて本にしよう、という軽い気持ちではじめました。でも、書き出すと、自分は何のために書いているのだろう、自分はなんで、長崎から岩手大学に行き、そして四半世紀もドイツに住んでいるんだらう、環境のテーマで日独をつなぐ自分の仕事の意義はなんだろう、これからどう生きて行くべきか、などと考えました。

書きながら、自分のルーツを探りました。そうしたら、自然や遊び場の多様性、人や文化の多様性、森と森の仕事の多様性、と自分が多様性に魅了され、導かれてきたことに気付きました。また同時に、周りの人や自分の所属するグループ、団体、社会が、多様性とは正反対の「均質」な枠に私を入れ込もうとしたときに、抵抗したり、逃げたり、または融合しようと無理に努力したりしていた自分がいたことに、気づきました。

多様性というキーワードで、「森づくり」から「地域木材クラスター」「モノづくりと人づくり」「森のレジャー」「森の幼稚園」さらには最新の脳神経生物学に基づく「文明論」まで書きました。科学的で客観的なデータも用いましたが、自分の経験や思いの方が軸にある、個人的な本です。前書きに書いていますが、まず自分のために書きました。自己セラピーにもなったかも知れません。

幼虫から静かなサナギの期間を経て成虫へと、昆虫のような完全変態をすることは、ホモサピエンスにはできませんが、この1年、地球上の多くの同種の仲間が、私と同じように、内的な変化をしたと思います。真に持続可能な社会を、自然と共に、仲間と共に、創っていくために。

今回、自己出版という形を取りました。自分でどこまでできるか、試してみたかったことが、理由の一つです。自分で編集し、友達に表紙のデザインを頼みました。出版社の苦勞が少しわかりました。そして、本を世に出していい体裁にする、大切な「校正」の作業は、岩手中小企業家同友会の紹介で、盛岡市在住のベテランライターである吉田聖子氏にお願いしました。私の少し「ドイツ訛り」の独特の日本語、所々にある我流の表現や用法を、丁寧かつシステマティックに、正しい日本語へと「調律」してくれました。

「多様性」と人と森のサステイナブルな関係」

紙の本(ペーパーバック版)
<https://www.amazon.co.jp/gp/product/B091F75KD3>

電子書籍も、Apple Books, Rakuten Kobo, Amazon Kindleにあります。



わが社の新商品

(有)猿子園芸(猿子祐太代表取締役)は、雫石町で切花の生産販売をしています。

豊富な地下水と冷涼な気候に加え、有機質肥料をふんだんに使った土づくりを行い健康的で長く楽しんでいただける商品づくりを行っています。主力商品であるユリは30種類以上の品種を年間を通じて栽培しており、季節に合わせてユリの美しさを感じられます。

また、「花粉が服についてしまう」「ユリ独特のにおいが苦手」というお客様の声にこたえて、花粉がなく、においも少ない八重咲のユリ「アンジェラ」を新たに商品化し、贈答用にもおすすめです。

贈答用のユリのギフトボックスは6本入り(白・ピンク・ミックス)3500円、10本入り4000円(すべて税込み・送料別)。ホームページからご購入が可能です。



HP: <https://saruko.jp/>
お問い合わせは(有)猿子園芸まで。

■本紙掲載の例会や諸事業には、所属支部に関係なくどこにでも参加できます。ご連絡下さい。■同志会ホームページをご利用下さい。■www.iwate-doyu.jp ■例会や役員会などのカレンダーと事業案内を随時更新しています。■本紙掲載事業への出欠返信は、同封のファックス返信用紙またはedyuをご利用下さい。

人と自然にやさしい環境を創り
地域型企业として貢献します。

水まわりのリフォーム
キッチン
バス・トイレ
洗面

住宅設備の
アフターサービス
エコキュート
ボイラー
FFスーパ

浄化槽
安心安全
調査・施工
メンテナンス
修理

北上営業所
岩手県盛岡市

岩手日化サービス株式会社
盛岡市黒川22地割56番地
電話 019-696-5611

Southern Iwate
DSG
サザン岩手ドライビングスクールグループ
Southern Iwate Driving School Group

陸前高田ドライビングスクール 三陸技能講習センター
RIKUZENTAKATA DRIVING SCHOOL Sanriku skill training center

平泉ドライビングスクール 遠野ドライビングスクール
HIRAIZUMI DRIVING SCHOOL TOHNO DRIVING SCHOOL

携帯サイトはこちら
<http://www.si-dsg.com/mobile>

TUENO

包装設計のプロフェッショナル「東北ウエノ」は
「適材適包」でお客様をサポート致します。

「PACKAG ENGINEERING」

詳しくはホームページで <https://www.touhokuueno.co.jp/>

株式会社東北ウエノ
〒021-0893 本社：一関市地主町3-35 TEL:0191-21-4531
テクノセンター：一関市地主町7-15 TEL:0191-32-5020

輸送包装便覧.com <https://www.transport-package.com/>

ゆたかな幸せのために、より良い環境創りで
真の循環型社会を目指します。

浄化槽保守点検 植物 BDFの製造・販売 BDF燃料 エネルギー資源 CO2

紫波環境株式会社
岩手県紫波郡紫波町南日語字小路70-1
TEL:019-672-2656 FAX:019-601-2686
<http://shiwakankyo.com/>

し尿・浄化槽汚泥収集運搬

物を大切に環境にやさしくありたい 使わない人から使いたい人へ
総合リユースショップ **DokiDoki 2nd STREET**

(株)トータル・リユース
代表取締役社長 伊瀬 幸郎
ise yukiro

本社 〒026-0041 岩手県釜石市上中島町2-2-33
TEL:0193-21-2126 FAX:0193-21-2127
携帯 090-8780-3296
E-mail: trise@arion.ocn.ne.jp

安心して暮らせる地域づくり
共に繁栄する仲間づくり
社員の生きがいづくり

各種配電盤、制御盤、計装盤の開発、設計、製作、施工
特殊肥料、いちご閉鎖型高設栽培システムの製造・販売

東日本機電開発株式会社
〒020-0401 盛岡市手代森5-19-10
TEL:019-675-2277 FAX:019-675-2288

オリジナルラベル
ワインを作成します

周年記念、御中元、お歳暮、ノベルティ等

SHIWA
自園自醸ワイン 紫波
岩手県紫波町産ぶどう100%

社名ロゴ 写真 OK 包装、のし無料 12本以上 作成無料

お申し込み・お問い合わせ
Tel. 019-676-5301
自園自醸ワイン紫波 (株)紫波フルーツパーク
醸造元
〒028-3535 岩手県紫波郡紫波町遠山宇松原1-11

注文すると「明日」来る。
オフィス・事務用品通販なら「アスクル」で

日用品 消耗品 文房具 飲料 工具

外出せずにFAX、Webにてご注文できます！
ご登録・お問い合わせは平金商店へお待ちしております。

<https://www.askul.co.jp/ag/hirakin/>

ASKUL AGENT 株式会社 平金商店
アスクルエージェント TEL:019-624-2121

DOYU
F W A T E
同志会わて
2021 Vol.149

発行 2021年5月1日発行
発行/岩手県中小企業家同志会
広報委員会

〒020-0878 岩手県盛岡市肴町4-5 カガヤ肴町ビル3F
TEL:019-626-4477
Mail: info@iwate-doyu.jp
FAX:019-626-1644